



# 国と地方をつなぐ仕事

関東総合通信局情報通信部情報通信振興課長

**小杉 裕二**

KOSUGI Yuji

- 平成11年 4月 郵政省採用  
大臣官房人事部人材開発課
- 平成13年 7月 総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課
- 平成15年 8月 総合通信基盤局電気通信事業部消費者行政課
- 平成17年 8月 総合通信基盤局電気通信事業部データ通信課企画係長
- 平成18年 8月 公正取引委員会事務総局経済取引局  
取引部消費者取引課調査係長
- 平成20年 7月 総務省総合通信基盤局電気通信事業部  
料金サービス課接続制度係長
- 平成23年 7月 総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課企画係長
- 平成27年 8月 金融庁監督局総務課郵便貯金銀行モニタリング係長
- 平成28年 7月 金融庁監督局総務課郵便保険会社モニタリング係長
- 平成29年 4月 現職

## ■ICT/IoTによる地域情報化の推進

私は現在、関東総合通信局にて、ICTやIoTを活用した地域の情報化推進のため、補助金等の支援策の業務を行っています。例えば、トマトなどハウス栽培の農作物は、温度センサーなどのIoTを使うことで、ハウスを巡回しない遠隔管理が可能となります。また、最近では、街中に公衆無線LANが多く設置されていますが、学校や役場など公的な場所に整備することで、災害時の通信手段として活用できます。総務省は、このような自治体や民間企業によるICTやIoTの利活用に対する、補助金等が多数用意されています。しかし、ただ本省で制度を整備して予算を確保するだけでは、なかなか地域の隅々にまで行き届きません。そこで、私たちは、関東の様々な地域の自治体を訪問し、どのような補助金が使えるのか、他の地域での効果的な先進事例としてどのようなものがあるのかなどの打合せを行い、時にはセミナー等のイベントを地域の方々と一緒に開催するなどして、ICTやIoTを活用した地域の情報化推進に日々奮闘しています。

## ■国の政策立案から地域への浸透まで

私はこれまで、本省において、携帯電話やインターネットといった身近な通信サービスについて、企業間の競争を通じて、安くて質の良いサービスが実現されるように、国の方針を決定し、法律改正やガイドラインの作成業務に多く携わってきました。それにより、光ファイバの利用料金の低廉化や格安スマホの普及など、多様なサービスが実現し、中央官庁で働いていることを実感できるものでした。そして現在は、様々な自治体と直接関わることで、地域の実情を学ぶことができ、ICTの利活用が人手不足や災害への対応といった地域課題の解決につながったと感謝していたり、地方局ならではの魅力も実感できています。中央では国の政策立案から決定までの大きな業務に携わり、地方では、中央の取り組みで実現した通信サービスを課題解決のツールとして活用して、地域の情報化推進に取り組む。このように、国の政策立案から地域への浸透まで、一連の仕事ができるのも総務省の魅力の1つです。



## Question & Answer

### Q. 仕事をする上で心がけていることは？

A. 国や地方自治体の新しい行政サービスや、民間企業の新しいICTサービスには、できるだけ関心を持って情報収集しようと心がけています。ただ新聞やネットを見るだけでなく、「このサービスはどのようにして収入を得ているのだろう」とか「住民の方が参加するメリットは何だろう」などを意識しながら情報を集めておく、地域課題の解決方法を考えた際、いいアイデアが浮かんでくることもあります。

### Q. これまでの仕事で達成感のあったことは？

A. 東日本大震災の復興関連の予算要求が印象に残っています。平成23年当時は本省に在籍し、津波で被害を受けた地域とその周辺への光ファイバ整備に対する補助金について、財務省への難しい説明を任せられ、大きな額を確保することができました。その後予算執行にあたり、総合通信局の担当者と被災自治体を訪問した際には、地元の方から感謝の言葉をいただき、苦勞の甲斐があったと実感できました。

## Private Life

休日は、日本全国のクラフトビール工場めぐりを楽しんでいます。できたてのビールを飲むために、ローカル電車とバスを乗り継いで1日ばかりで出かけることも多いです。自然豊かな林の中や景色の良い丘の上のレストランで、地元食材の料理とあわせていただく1杯には、都会では味わえない魅力があります。

